



基本的な挨拶の姿勢を学ぶ研修生



交通安全を学ぶ



瀬尾講師の講義

平成 25 年度 新入社員激励と研修会を開催 16 企業・38 名が参加！企業の即戦力となるビジネスマナー等を学ぶ

4月 12 日（金）・13 日（土）の 2 日間、本年、市内の企業に入社した新入社員等を対象に、当所主催による標記研修会を開催しました。

講師には、当所議員で日本ホワイトファーム株式会社の人事担当を務める瀬尾哲巳氏が担当し、企業人にとって重要なビジネスマナーについて学んでいただきました。

会員事業所の連絡調整役として
会員事業所活動をより効果的に運営す
る目的で設置している標記、連絡
会議を開催しました。
年度最後となる会議では中小企
業・経営改善強化に関する事項の
説明の後、消費税の価格転嫁など
について異業種による意見交換が
行われました。



商工振興委員連絡会の様子

3/27

平成 24 年度 第3回商工
振興委員連絡会議を開催

〒093-0013

北海道網走市南 3 条西 3 丁目

TEL 0152(43)3031

FAX 0152(43)6615

平成 25 年 5 月 1 日

No.210

ホームページアドレス変更
<http://www.a-cci.or.jp>

facebook アドレス
<http://www.facebook.com/abashiricci>



研究会の委員と会議の様子

今後、当研究会では定期的に情報交換や議論を重ね地域活性化の一助となるよう努めてまいります。

3/28

「食の研究会」を設立！

3/27

**篠原常議員が日本商工会議所
永年勤続（20年）を受賞**



中原会頭（右）より表彰状を受ける篠原常議員

網走セントラルホテルで行われた平成24年度通常議員総会の席上、永年に亘り当所議員として商工業界の振興発展や運営基盤強化に尽力されてこられた篠原 肇 常議員（㈱篠原商店社長）に対して、日本商工会議所の永年勤続20年表彰の伝達式が行われました。

伝達式の中で中原会頭は、「会議所の発展に力を尽くされた功績は誠に顕著であります」と表彰状を手渡しました。



**4月3日（水）東京農業大生物産業学部協力会
新入生父母歓迎会を開催！**

東農大生物産業学部協力会（会長・中原章博会頭）は入学式前日、網走の「良さ」を知ってもらうことを目的に新入生と保護者を対象にした歓迎会を開催。

新たな生活環境に、期待と不安を抱く新入生とその保護者ら約550名が出席されました。

中原会長は「網走市民を挙げて皆様を大歓迎しています。学生達には、この自然に恵まれた雄大な網走において素晴らしいキャンパスライフを過ごしていただきたい。

また保護者の皆様には、お子様を安心して網走に預けてください。我々がサポートします」と挨拶しました。



盛り上がる会場内の様子

会場には地元企業や団体が歓迎の意を込めて提供したクジラ料理やホタテの刺身、わかさぎの天ぷらなど「網走の食」がテーブルに並べられ、出席した新入生や保護者は、その味覚に舌鼓を打っておりました。

娘さんと一緒に参加した保護者（母親）に網走の印象についてお聞きしたところ「当地に訪れるまでは、どんなところかわからぬいためとても心配だったが、実際に来てみると親切な人も多く治安も良さそうなので、安心して一人暮らしをさせられる」と当地の良さを実感していました。



中原会頭より歓迎の挨拶

4/15

**第一回 役員議員情報
交換会を開催！**



◆網走開発建設部部長 大内 幸則 様
◆才ホーツク総合振興局局長 中島 克彦 様
◆網走公共職業安定所所長 成田 昌子 様

その後、ゲストと役員議員の意見交換がおこなわれました。参加いただいたゲストの方々は次とのおりです。

当所では、役員議員の一層の情報交換と横の連携を深めてもらうことを目的に網走セントラルホテルにおいて「役員議員情報交換会」を開催しました。今回は、第一回目ということもあり、今回転任等で当地に着任されて来られた諸官庁の方々をゲストとして招き、本年度の主要事業の概要などについて説明していただきました。

東京農業大学オホーツクキャンパスでは！ どんな取り組みと研究をおこなっているの？ 知っておきたいQ & A

網走商工会議所と東京農業大学生物産業学部の包括連携協定が締結されました。当所では、東農大と網走市の産業や教育・文化・地域振興の各分野について相互に協力し、網走地域発展を目的に「产学官民」の繋がりや産業ネットワークの基盤の強化を図ってまいります。

まずは、皆様に東農大の各学部で行われている研究や取り組みを知つていただき研究依頼等今後の連携を図るための資料としてご紹介させていただきます！



まず、オホーツク×実学主義についてお話しさせていただきます。網走は豊かな大地と海に囲まれたオホーツクの宝であり、生物産業学部では、この環境を生かした実践力キユラムのもと、オホーツク地域の課題に向き合う中で学ぶ地域連携教育プログラムの創造に努めています。

今回紹介する3には、優れた取り組みとして文部科学省の支援事業に採択されたものも含まれます。



東京農業大学オホーツクキャンパス

オホーツク×実学主義

オホーツク学

生物産業学部4学科得意分野を融合することで備わる複眼的な視点で、オホーツク地域が抱える課題を見つめ、その解決と発展に取り組むフィールドワーク型の体験学習プログラムです。

エゾシカ学

生息数を増やすエゾシカが農林業被害や社会問題をもたらしており、森林生態系の影響も懸念されています。野生エゾシカとの共生を考え地域産業の創出に結びつけるプログラムです。

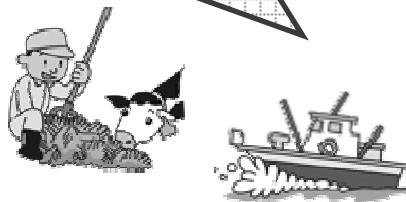
フードマイスター

当地では大規模農業や畜産業が盛んで、オホーツク海からは豊富な魚介類が水揚げされています。この豊かな農畜産物や水資源にさらに付加価値を添え、網走市の活性化に貢献するプログラムです。

エゾシカ焼肉



地域と連携した「ものづくり」について、こんなものがあります！



マスせんべい



原料生産・加工・製品化・流通を学科連携で展開

地域の有効資源や未利用資源を活用し、地域との連携によって研究・開発を進めてきました。成果は様々なオリジナル商品の製品化にも象徴されます。生産資源の選択、加工から製品化の研究、流通・販売一巡して再び生産というサイクルの中で、4学科がもつ専門技術を連携させ産業化させる試みは、まさに生物産業学部ならではの『実学』の証といえます。

オホーツク実学センターがその推進的役割を果たしている

エミュー生どら焼き



(株)東京農業大学 バイオインダストリー



地ビールの開発



エミュー油配合石鹼



鮭太郎・鱈次郎 (魚醤油)



エゾ鹿ソーセージ



東京農業大学では、どんな学部があり、 どのような研究がおこなわれているの？

東京農業大学は、榎本武揚が北海道にエゾ共和国創設の夢を描き設立されました。現在は全国に3キャンパス（厚木・世田谷・オホーツク）あり、6学部、21学科となっております。各学部と学科の詳細については下記のとおりです。

◆農学部『人と動植物との共生をめざして』

- ・農学科－次世代型農業を追及する新しい農学を展開。
- ・畜産学科－動物の科学をマクロからミクロまで追及。
- ・バイオセラピー学科－人と生き物との共生と癒しを科学する。

厚木キャンパス

◆応用生物科学部『未来の地球を化学とバイオで拓く』

- ・バイオサイエンス学科－ミクロの技術で食料・健康・環境の諸問題解決を目指す。
- ・生物応用化学科－生物、化学物質の課題を科学し、人類の未来を拓く。
- ・醸造科学科－微生物の機能を科学で解明し、未来をクリエイト。
- ・栄養科学科－食と健康の高度なプロフェッショナルを育成。

世田谷キャンパス

◆地域環境科学部『地域での行動を通して地球環境を創造』

- ・森林総合科学科－人と森林との共生社会を実現する。
- ・生活環境工学科－生産支援や環境保全のためのエコ・テクノロジーを追及。
- ・造園科学科－人と自然の環境創成に貢献する専門技術者を育成。

世田谷キャンパス

◆国際食料情報学部『食料と環境・ビジネスで国際社会にチャレンジ』

- ・国際農業開発学科－途上国の発展と地球規模の保全を担うパイオニア。
- ・食料環境経済学科－世界の食料システムと環境問題を経済の視点から研究。
- ・国際バイオビジネス学科－情報戦略を駆使して国際市場で活躍するエキスパートに

世田谷キャンパス

◆短期大学部『専門職社会人への基礎作り～実学の2年間教育～』

- ・生物生産技術学科－実践が農のエキスパートに。
- ・環境緑地学科－動植物を愛し、緑との共生の道を志す。
- ・醸造学科－微生物の力を利用した伝統と先端の技術を学ぶ。
- ・栄養学科－現代人の健康的な食生活をプロデュース。

世田谷キャンパス

◆生物産業学部『北の大地で感動し、体験し、学び、究めよう』

- ・**生物生産学科**—絶好の環境で生命、生物生産、環境を科学する。
- ・**アクアバイオ学科**—生物資源豊かなオホーツクで学ぶ水園のサイエンス。
- ・**食品香粧学科**—食品開発・加工から香料・化粧品までを研究。
- ・**地域産業経営学科**—地域に根ざして個性を磨き地球社会の再生にいどむ。

生物産業学部(オホーツクキャンパス)の各学科でおこなわれている研究を一部 ご紹介します！

生物生産学科

◆**植物バイテク研究室**：糖鎖の役割と生合成に関する研究・植物の糖鎖工学・植物の塩ストレス応答の分子機構に関する研究。

○塩生植物アッケシソウの耐塩性に関する遺伝子の探索。

【自慢の施設】網走寒冷地農場：教育、実習だけでなく農業そのものを実践。

○サッポロビール㈱との共同研究などもおこなっています。



アクアバイオ学科

◆**水圏環境学研究室**：水圏環境と植物プランクトン・衛星リモートセンシングとエアロゾルが水圏環境に及ぼす影響。

【自慢の施設】オホーツク臨海研究センター：オホーツク海と沿岸にある汽水湖に臨み、水圏生物と水圏生態系を飼育、研究してきます。



食品香粧学科

◆**食の化学研究室**：食品加工・製造および香粧原料を化学・物理的視点から解析し、それら生物資源の有効利用方法を検討し、素材から製品化まで一貫した食品や香粧品の幅広い新規開発を行う。

【自慢の施設】食品加工技術センター：キャンパス内に食品の製造設備を整え、ものづくりの本質や技術を学び、夢の加工食品を学生自身の手で開発しています。



地域産業経営学科

◆**地域産業戦略研究室**：地域活性化と経済振興戦略、労働、生活、健康から地域を考える・環境資源経済への物質代謝論的アプローチ、アソシエーション社会の構築。

【自慢の施設】オホーツク地域そのものが巨大な教育研究「施設」：網走を中心としたオホーツク地域のあらゆる社会生活活動が学生の体験と研究のフィールドになっています。



※網走商工会議所では、東京農業大学生物産業学部との包括連携を軸に会員企業の様々な商品開発における研究等で、より大学の活用が進むようお手伝いしていきたいと考えております。お気軽にご相談いただきますようお願い申し上げます。

報告

『網走中央商店街交通量調査』

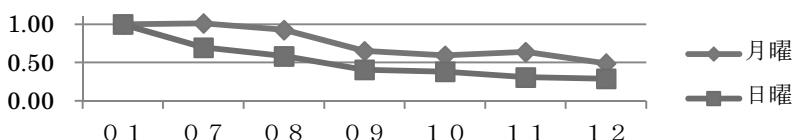
中央商店街周辺の歩行者交通量の変化

- ◆調査地点（東1、2・西1、2・西銀座・西名・広小路）の7地点
- ◆調査方法（各時間帯の各正時から15分間の歩行者方向別通行量観測）

【結果】

- ・平日、休日別に歩行者の交通量の変化をみると全体的に交通量が減少していることが表のとおり判ります。
- ・曜日別にみると平日よりも休日（日曜）の減少率が大きいです。

※下記グラフの縦軸は人数、横軸は実施年度となっております。



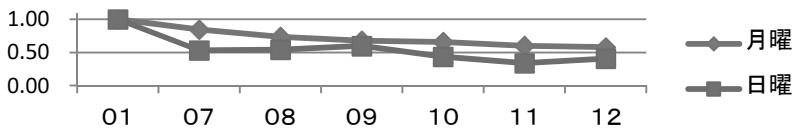
中央商店街周辺の自動車交通量の変化

- ◆調査地点（東1、2・西1、2・西銀座・西名・広小路）の7地点
- ◆調査方法（各時間帯の各正時から15分間の自動車の方向別通行量観測）

【結果】

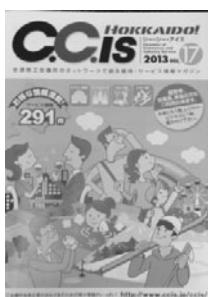
- ・自動車の交通量も歩行者と同様の傾向を示しているが、減少率は年度の減少率は歩行者に比べてやや穏やかです。

※下記グラフの縦軸は人数、横軸は実施年度となっております。



会員向け優待サービス券(CCIS)をご利用下さい！

会員向け優待サービス券(CCIS)には全道の商工会議所会員施設（ホテル、旅館、ゴルフ場、スキー場など）の優待サービス情報を掲載しております。当サービス券を提示することで様々な特典が受けられます。サービス券は当所にて無料で発行しておりますので是非、ご活用下さい！



2013 年度版
CCIS ガイドブック



パート職員

たな ちえ

当所パートとして4月より入所しました。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

経営者の退職金 小規模企業共済のご案内

経営者には通常退職金がありませんので、現役を引退した後は自助努力により現役引退後の生活資金を予め準備する必要があります。そこで、経営者を支援するた

めの退職金にあたるものが、「小規模企業共済」です。税制面のメリットがございまして、是非この機会にご加入を検討されてはいかがですか？ 詳細については当所まで

※加入できる方
常時使用する従業員が20人以下（商業・サービス業では5人以下）の個人事業主または、その経営者および会社役員となります。

網走商工会議所 5月の事業スケジュール

- ◆ 1日(水) モヨロ貝塚館開館式典
- ◆ 8日(水) あばしりオホーツク夏まつり世話人会議
- ◆ 10日(金) 東北海道商工会議所連絡協議会(紋別市)【11日まで】

☆5月1日(水)より、当所のホームページアドレスが変更になります。 <http://www.a-cci.or.jp>

会員事業所紹介

平成17年に開業、本年で8年目となるお店は、元々ホテルで和食の料理長として腕を振るつていた店主が、様々な縁が重なり開業に至ったそうです。

『隠れ家』的なお店として知られており当日仕入れた旬の食材をメインにおまかせ料理を中心にお業。事前に連絡いただければ、お客様が希望する食材を使用した料理も出すことが可能であるとのこと。

店主曰く、「お客様の要望により通常のお店では扱っていない珍味なども用意することができます。

価格設定についても、多くのお客様に気軽に来ていただきたいと思いつつ、ナブルな価格としているので、是非、お店に足を運んでほしい」とのことでした。

また、店主は、ボランティア精神と和食で培った技術を活かし、流氷まつりの雪像づくり等にも参加されているそうです。



居酒屋 旬彩
代表者 杉山 岩男さん
住所 網走市南3条西2丁目
第3ツカサビル1階
TEL 45-0276
FAX 45-2247
営業時間:17:00~22:00
定休日:日曜日

飲食業者会



**プリチ"ストンタイヤセンター
北日本㈱ 網走タイヤ**
代表者 高橋 栄二さん
住所 網走市新町1丁目
10番8号
TEL 43-2155
FAX 43-4693
営業時間:8:30~17:30
定休日:日曜日

サービス業者会



このことは、来てからも同じで、日々何かに感動している状態です。

まず、仕事の紹介をさせていただきますと、全国の商工会議所と提携して、会員事業所の福利厚生制度を中心とした共済制度を推進しています。したがいまして、転勤は全国に渡り、今回の転勤で4ヶ所目です。

それぞれ「住めば都」のことば通りですが、このオホーツク圏は、全てが揃っています。まとめると以下の4点です。

①食べ物（ほとんど最高、特に肉・野菜！）
②人（人情味があり温かい、器が大きい！）
③大自然（まさに北海道の雄大な

景色、知床連山は特に素晴らしい！）

最後に④災害（少なく安心！）

前勤務地が宮城県石巻市で、あの「3・11」の大震災を身をもって体験（自宅・家財・車を消失）しました。

一晩で全ての持ち物を失い、寝床もない！こんなことは生まれ初めて初めてでした。

その後もしばらく余震が続き、震えが止まることにとても幸せいときます。思い余つて自宅を購入してしまいました。（さすがに今年3月初旬の、ホワイトアウトは怖かったですが…）

網走の皆様には、地震の心配がないことに幸せを感じています。

でも、もし大地震が来たら津波に備え、とにかくすぐ高台に逃げて下さいね！（津波の教訓）網走の魅力は、枚挙にいとまがありませんが、次に転勤するまで、さらに楽しみたいと思っています。

風の人(転勤族)からみた網走(14)

アクサ生命保険(株)北見営業所

所長 羽田 行良 さん

